

| | | | | | | | | | | | | | | | |
|-----------------|--------|-------|-----------------|------|----|-------|--------|---------|------|---------|----------------------|------|----|----------------|--|
| 科目区分 | 専門教育科目 | 授業科目名 | 保育原理 | | | 科目コード | 25Y301 | 担当者 | 船勢 肇 | | | 担当形態 | 単独 | | |
| 対象学科・コース | 幼児教育学科 | 配当年次 | 1年次 | 開講学期 | 前期 | 単位数 | 2 | 必修・選択の別 | 選択 | 免許・資格要件 | 社会福祉主事任用資格、保育士必修 | | | | |
| 授業形態 | 講義 | 履修条件 | | | | | | | | | 教育職員免許法施行規則に定める科目区分等 | 科目区分 | | | |
| 実務の経験を有する教員担当科目 | | | 実務の経験内容及び科目との関連 | | | | | | | | | | | 科目に含めることが必要な事項 | |

| | | | |
|-------|---|--------------------------|--------------------------------|
| 授業の主題 | 保育の意義や内容、思想、歴史、制度などの基礎知識を学び、保育の現状を考察する。 | 課題等への対応 (フィードバックの方法等) | 提出されたレポート・課題を採点し、コメントをおこなう。 |
| 授業の方法 | 講義を中心に、アクティブラーニングの姿勢が求められる。各自が努力して取り組むこと。 | アクティブ・ラーニングの実施方法 | 授業内でのディスカッションを通して理解を深める方法を用いる。 |

| 回数 | 授業計画 | 事前・事後学修 | 回数 | 授業計画 | 事前・事後学修 | |
|-----|-------------------|------------------------------------|------|----------------------------|------------------------------------|-----------|
| 第1回 | 授業説明、保育者になるために | 教科書第1章をよみ、保育者とはどのような存在かイメージしてくる | 第9回 | 日本の子育て環境を考える 待機児童問題と「保育の質」 | 教科書第10章をよみ、少子化問題について考える | |
| 第2回 | 近代の幼児教育の思想 | 教科書第11章をよみ、特にルソーについて、各自でまとめる | 第10回 | 日本の子育て環境を考える 少子化問題 | 教科書第10章をよみ、映像をみて、少子化問題について考える。 | |
| 第3回 | 社会と子ども 戦災孤児を事例に | 第12章第3節、同第4節をよんで、社会と子どもの関係についてまとめる | 第11回 | 日本の子育て環境を考える 貧困の連鎖 | 教科書第10章をよみ、映像をみて、子どもの子育て環境について考える。 | |
| 第4回 | 保育の1日 未満児～3歳児 | 教科書第5章・第6章をよみ、発達段階をふまえた園の勤務を学ぶ | 第12回 | 日本の子育て環境を考える みえない貧困 | 教科書第10章をよみ、映像をみて、子どもの貧困について考える。 | |
| 第5回 | 保育の1日 5歳児 | 教科書第6章をよみ、発達段階をふまえた園の勤務を学ぶ | 第13回 | 最新の報道から考える 子育て政策 | 新聞記事などから現状を知る | |
| 第6回 | 保育の1日 発達段階 | これまで学んだ内容を整理し、文章にまとめる。 | 第14回 | 事例から考える | 授業内で配布するプリントをよみ、具体的な事例について考える | |
| 第7回 | 園の種類 | 教科書第3章を読んで、内容をまとめる。 | 第15回 | まとめ 保育の思想・歴史・現在 | 授業内で配布するプリントをよみ、これまでの講義の振り返り | |
| 第8回 | 日本の子育て環境を考える 夜間保育 | 授業内で配布するプリントをよみ、夜間保育の役割を知る | | | 事前・事後学修時間 (分/授業1回) | 180分/授業1回 |

| | | | |
|---------------------|-----------------------------|----------------|---|
| 教科書 [書名/著者名/出版社] | つながる保育原理/井上孝之・小原敏郎・三浦主博/みらい | 受講生への メッセージ | 授業計画は状況をみて変更する可能性があります。「保育」とはどのような営みか、考えていきます。板書をノートに写すだけで満足しないでください。適宜、グループディスカッションを課し、さらにそれを自分で整理してまとめてもらいます。授業内容、同級生が話す内容の全てが保育を考える上での貴重なものです。よく集中して、講義を受けてください。 |
| 参考書 [書名/著者名/出版社] | なし | | |

